

事業評価書

補助事業名	上江洲塩屋線外1線道路整備工事（整備工事）						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市字上江洲地内						
補助事業の成果の目標	<p>本事業区間は、地域住民の生活道路として使用されているが、道路幅員が狭隘な区間があり離合困難な状況である。また、側溝未整備箇所では、降雨時の路面水が道路隣接地へ流入している状態である。このことから、本事業により狭隘部の道路拡幅及び側溝整備を行い、道路通行の安全性・利便性の向上及び隣接地への雨水流入を防止することで、地域住民の生活環境の改善を図るものとする。</p>						
補助事業の内容	<p>調査設計業務（実施設計、用地測量）一式 用地買収 A=26.72㎡ 2筆 道路整備工事L=121m（上江洲塩屋線L=52m、上江洲5-10号線L=69m）</p>						
補助事業の始期及び終期	令和3年度から令和5年度						
事業費及び交付金額		令和3年度	令和4年度	令和5年度			計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	5,794,800	902,000	17,563,280			24,260,080
	交付金額	4,895,000	902,000	15,973,000			21,770,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、地域の生活環境改善を図ることができた。本事業完了後、地域にアンケート調査を実施したところ、道路及び排水路を整備することにより交通の安全性が向上し、また快適に通行できるようになったと回答が多数あったことから本事業の成果目標を達成できたと評価する。</p> <p>地域住民に対し、特定防衛施設周辺整備交付金による事業である旨を以下のように周知する。</p> <p>地域住民への周知：1) 市ホームページへ掲載。 2) 市広報誌に掲載。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	<p>地域住民アンケートより、上江洲塩屋線においては本事業の延伸要望があったことから、引き続き地域と調整を行い生活環境の改善を図りたい。</p>						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	宮里6-56号線道路整備事業(工事)						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市字豊原地内						
補助事業の成果の目標	<p>本事業区間は、地域住民の生活道路として使用されているが、法面崩壊の恐れがある区間があり、安全対策として、現道に大型土のうを設置していることから道路幅員が狭隘で離合困難なので、安全かつ円滑に通行することができない状況である。</p> <p>このことから、法面補修及び大型土のうの撤去を行うことで安全かつ円滑な交通機能を確保し、地域住民の生活環境の改善を図るものとする。</p>						
補助事業の内容	土地評価 一式 用地買収 253㎡(3筆) 法面工事 L=30m						
補助事業の始期及び終期	令和4年度から令和5年度(繰越)						
事業費及び交付金額		令和4年度	令和5年度 (繰越)				計
	事業費	円 5,150,248	円 18,995,900	円	円	円	円 24,146,148
	交付金額	円 5,150,000	円 13,632,000				円 18,782,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>工事が完了したことにより、地域住民に道路の安全確保及び利便性が向上したかを確認するためアンケートを実施した結果、以下の回答が得られたことから、本事業の成果は得られたものと評価した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型土のうが撤去されて通行しやすくなった。 ・法面が整備されて安心した。 <p>地域住民に対し、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知する。</p> <p>地域住民への周知: 1) 市ホームページへ掲載 2) 市広報誌に掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	本事業は完了しましたが、今後も地域住民の要望に応えながら、道路の維持管理に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						